

東京と緑



発行所
(一)東京都造園緑化業協会
東京都渋谷区神南1-20-11
電話 (03)3462-2858
http://www.tmla.or.jp
編集/広報委員会

- 《226号の主な内容》
- 【2面】迎春会員一覧、造園雑感、公園協会震災訓練他
- 【3面】緑窓、高校生インターシッブ、関東甲信協議会、安全講習会他
- 【4面】東京みどり探訪(30)、新会員入会、事務局の動き他

令和5年度予算等要望について

知事ヒアリング

令和4年11月22日、令和5年度東京都予算等について小池知事に要望活動を行いました。当協会からは、村尾会長、卯之原理事長ほか5名の理事が出席しました。要望事項は、次の5点です。

1点目は、「造園関係業務委託への最低制限価格制度の導入」についてです。昨年度も同様の要望を行いました。都からは、「業務委託については、一般的に委託内容が多岐に亘っている状況があり、積算基準を共通化することによる影響や適用すべき業務分野の範囲等について課題があり、引き続き検討していきたい」との回答に留まっています。そこで今回は少しでも前に進むため、①最低制限価格を設定する上で積算の基準を共通化するとは必須とは思われないこと、②委託業務への最低制限価格制度の導入について、関東甲信県では9都県中7県が導入済みであること等を説明して要望しました。2点目は、「営業種目110道路・公園等管理と133樹木・緑地等保護を明確に区分した発注」についてです。都の造園委託業務の登録は、以前は110だけだったため、樹木管理を本業としていない清掃会社やビルメンテナンス会社

なども参入し、競合していました。そこで、当協会はじめ造園業界団体が財務局に要望した結果、平成29年から営業種目133が新設されました。しかし、いまだ造園の技術・技能が求められる業務内容であっても、110で発注されているものがあり、110と133の区分が不明瞭な状態が続いています。そこで要望では、両者を明確に区別して発注していただくよう要望しました。3点目は、街路樹剪定委託の現場代理人の資格要件についてです。これまでの要望も踏まえ、都は令和4年度から、「街路樹剪定委託の現場代理人は街路樹剪定士とする」としましたが、実際には、街路樹剪定士を臨時雇用して現場代理人に当てていることが散見されます。そこで臨時雇用でなく、工事と同様に「現場代理人を直接的かつ恒常的な雇用関係を有する者」にするよう改善を求めました。4点目は、「全ての造園関係業務委託に成績評価をつける」ことです。現在、造園関係業務委託案件では、財務局の発注のうち限られた案件しか成績評価の対象になっていません。そこで、成績評価を財務局発注案件だけでなく、事業局を含めた造園関係業務委託へ拡大適用し、成績

不良の業者には何らかのペナルティを課すなどの厳正な対応をお願いします。5点目は「造園職の採用・育成、適正配置について」です。現在、全11建設事務所のうち造園職が配置されているのは7建設事務所のみであり、かつ課長代理(係長級)が配置されているのは2建設事務所のみです。こうした状況だと不適格業者への指導や適正な成績評価も難しいことがありま



す。そこで造園職の採用・育成、建設事務所への適正配置をしていただくようお願いしました。これに対し、知事から「街路樹剪定委託の現場代理人について、工事と同じように『直接的かつ恒常的な雇用関係を有する者とする』ことについては、委託の履行状況などを見ながら対応してまいります」との回答がありました。財務局長からは、「最低制限価格制度の導入は、ダンピング対策として有効な手段であるが、制度の導入にあたっては、統一的な積算基準が必要で、造園関係業務委託は、現状複数の積算基準が存在しており、積算基準を共有化することが重要である。引き続き適用範囲等について検討していきたい」、「成績評価は財務局発注の日々履行型の業務委託において実施し、成績不良の事業者には指名選定を行わないなどの対策を図っている。一方で、各局発注においては、局ごとに指名選定にかかる基準を設けて運用しているところ、適用拡大に向けて、財務局が実施している成績評価制度を周知して各局で活用していただきたいと考えている」、「営業種目110と133の取扱いについて、財務局はこれまで、業務内容に応じた営業種目の設定を各局に周知しているところであるが、まだ十分でないところもある。今後適切な営業種目により発注が行われるよう、各局への周知を徹底していきたい」と3点の回答がありました。中島都技監からは、「営業種目に関して、建設局では、街路樹剪定について133により発注していくとともに、街路樹剪定士の資格を有する者を現場代理人としている。引き続き、街路樹の適切な管理に向けて街路樹剪定士の活用を図っていく」、「造園職の育成等について、造園職の技術力の維持向上に向けて、OJT、技術研修による職員育成に取り組むとともに、造園職の技術力が発揮できるような職員配置に努めていく」との回答がありました。これからも、様々な機会をとらえて、こうした要望を続けてまいります。なお、会議の様子は東京都財務局のホームページでご覧いただけます。

「2026号の主な内容」

「2026号の主な内容」

会長 新年ご挨拶



会長 村尾 公一

令和5年の初春にあたり、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。会員の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、わが国で新型コロナ患者の発生が確認されて3年を経ようとしています。この間、行動制限、ワクチン接種、マスク着用など、様々な取組が行われてきました。しかし、コロナ株は変異を続け、陽性者数も波を繰り返し、一向に衰えを見せない状況です。感染防止対策と経済活動の継続の両立を図りながら社会を動かしていくという困難な対策が求められています。一方、造園建設業に目を転じれば、コロナ禍において、公園緑地等のオープンスペースや街路樹、身近な緑の価値が再評価され、今後のニューノーマルな生活における「みどり」の一層の役割の拡大が期待されています。われわれ造園関係団体は、この機を的確に捉え、公園緑地等に対する国民の期待に応えられるよう一層質の高い整備拡充を担うとともに、今ある「みどり」を、より美しく充実させ、更に安全で快適に過ごせるよう維持管理し、それを通して都市生活における「みどり」の魅力と重要性を発信していくことが求められています。

もう一つの懸念は、昨年2月、突然始まった核保有国で常任理事国であるロシアのウクライナ侵攻です。その影響は単に両国に留まらず、資源・エネルギーの供給量削減や、輸送経路の遮断等により、原材料や食料の不足、価格高騰が世界中に広がっています。さらにわが国では追い打ちをかけるように円安の影響が広がっています。建設分野においても、資材価格の急上昇、調達困難など厳しい状況が続いています。ウクライナ情勢は先行き不透明で、こうした社会経済情勢からいつ脱却できるかは不確実で、今後も難しい経営状況の継続が想定されます。しかし、こういう時こそ、様々な造園団体が情報交換し、知恵を絞って、乗り切っていくことが重要であると思います。皆様方のより一層の連携と奮起をご期待いたします。最後になりますが、皆様方と御家族様の御健勝とご多幸と各社の社業の一層の御発展を、ご祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

理事長 新年ご挨拶



理事長 卯之原 昇

皆様、明けましておめでとうございます。昨年3年ぶりに対面して定期総会を開催し、会員が一同に会して意見交換し、懇親を深めることができました。日比谷公園ガーデンショーや関東甲信造園建設業協議会もコロナ前のように開催することができました。また、4月には村尾会長をお迎えし、ご助言をいただきながら、協会の基盤の強化と発展に努めているところです。さらに、組織力の強化のためには会員数の拡大が必須であることから、令和3年10月から1年間、入会金を無料とするなどの取組を実施してきました。その結果、101社(令和5年1月1日現在)となり、目標を達成することができました。今後とも当協会の一層の発展に取り組むつもりです。新型コロナはまだまだ油断を許す状況ではありませんが、会員の皆様には健康に留意され、令和5年度が飛躍の年となりますよう祈念いたします。

- 副理事長 住吉 泰男
専務理事 大場 淳一
理事 山下 博史
青柳 義昭
五十嵐 政昭
植村 裕史
小川 和子
萩野 潤司
木下 剛
齋藤 悟
千原 義人
成田 拓雄
西田 喜一郎
松田 喜一郎
光田 喜一郎
和光 喜一郎
監事 渡邊 健太郎
理事 新田 健太郎

卯之原理事長が黄綬褒章を受章

令和4年11月3日に、令和4年秋の褒章受章者として、卯之原昇理事長が黄綬褒章を受章されました。



菊地相談役が東京都功労者表彰を受賞

令和4年10月3日に東京都功労者表彰(都市づくり功労)を当協会前理事長、現相談役の菊地謙二氏が受賞されました。



稲毛理事が都知事感謝状を受賞

令和4年12月21日に東京都庁にて令和4年度東京都知事感謝状を当協会理事の稲毛裕史氏が受賞されました。



令和5年度 国家予算等について自民党都連に対し要望

令和4年10月6日、自民党本部において、東京都支部連合会に対し、令和5年度国家予算等に関する要望活動を行いました。

要望の第一は、燃料や資機材の高騰や、新型コロナウイルスによる作業員確保の困難さの中で、発注事業量が削減されれば、益々経営が苦しくなるため、急速な物価上昇に則した、公園、道路の整備・維持管理事業の予算確保をお願いしました。そのために、東京都への国の支援として、現在、公園の施設整備に対する国庫補助率の引き上げや補助対象施設の範囲を広げていただくよう要望しました。

第二は、公共工事の品質確保のために平成17年に品確法が制定され、その後、調査・設計等についても対象に追加されましたが、造園に関する業務委託は、法律でいうところの「公共工事等に当たらない」として品確法の対象となっておりません。しかし、街路樹等では、品質管理が特に重要であり、東京都における造園業務に適用される市場単価の作業条件が明確でないため、現場状況が複雑であっても設計変更が認められない実態があります。そこで、造園業務において、市場単価がどのような作業条件下で設定されているのかを明示してもらうとともに、現場状況が作業条件と大きく異なる場合には設計変更等に対応できるように、市場単価の作業条件を細分化するよう要望しました。

第三は、新たな造園労働単価の設定です。一口に造園工と言っても、業務に必要な技術は様々ではなく、樹木の高木化、高齢化等により、維持管理は以前にも増して技術的難易度が高まっています。そして、高所作業車での剪定作業が出来ないような狭く困難な場所では、ツリークライミング技術を活用する特殊造園技術者も増えてきています。こうした実態に合わせたより高度な技術を有する造園技術者の労働単価の設定の検討を要望しました。

第四は、造園業務に適用される市場単価の作業条件が明確でないため、現場状況が複雑であっても設計変更が認められない実態があります。そこで、造園業務において、市場単価がどのような作業条件下で設定されているのかを明示してもらうとともに、現場状況が作業条件と大きく異なる場合には設計変更等に対応できるように、市場単価の作業条件を細分化するよう要望しました。

都議会各派に 令和5年度予算要望活動

令和5年度東京都の公園緑地関係予算について、令和4年9月8日に公明党、都民ファーストの会、9月12日に自民党、立憲民主党に対し要望活動を行いました。内容は、上記の令和5年度予算等要望について知事ヒアリングと同様です。会派からは、「不適格な街路樹剪定が行われるのは何が原因なのか。などの質問がありました。そこで、好ましい剪定の写真と、不適正なフツ切りの写真を提示するなどして、造園業を本業としない業者の参入とダンピング受注などが要因であることを説明しました。そのうえで、適正な受注環境を整え、極端な低価格受注を防止すること、好ましい街路樹管理ができることを説明し、ご支援を要請しました。



ど底辺の職業???



少子高齢化が進む日本において、どの産業においても人手不足、担い手不足が深刻な課題となっています。そんな折、今春、追い打ちをかけるようなニュースが報道されました。

「底辺の職業ランキング」

大学生向けの就職情報サイトが公開した記事を紹介したもので各方面に物議を醸しました。「造園」という文字こそ出ていませんが、土木建設作業員、清掃スタッフ、トラック

造園雑感

運転手、塵芥収集運搬など、我々が日々努力奮闘している業務がそこにありました。また、「AI化され10年後になくなる職業ランキング」においても、典型的な建設土木作業、清掃作業、廃棄物収集運搬ですらAI・ロボット作業に置き換えられるだろうと書かれており非常に衝撃を受けました。

「造園雑感」

「中高生がやりたい人気職業ランキング」ランキングには造園業はありませんが、上位にランクされているYOUTUBERやイラストレーター、デザイナーなどは若者のクリエイティブな志向を感じられますし、警察官、医師、パイクレンジャー、教師、外交官などは人ごとながりの中で仕事をしたい意識があるのかもしれない。建築家、大工、料理人、エンジニアなどはまさに職人気質への憧れでしょう。

知られていないだけで、意外と若い人の趣向は造園に向いているのかもしれない。向は造園に向いているのかもしれない。【ど底辺から脱却】のヒントが隠されているのかもしれない。

(大森造園建設株式会社 専務取締役 菅原祥人)



方改革に加え、コロナ禍でのテレワークなどの導入により、人々の仕事への向き合い方が【個人志向重視】へと進んでいるように感じます。更にテクノロジーにより生活全般が効率的で便利になった現在、あえて労働時間も長く、また非効率で体力的にも厳しく、技術取得に時間もかかる建設産業等への抵抗感や興味・関心が薄らいでいることも正しくランキングに反映されているのでしょう。

将来の造園業界はどうなってしまうのだろうか・・・

このような記事を目にする度に、業界を発展させ、次世代へバトンを渡す立場でもある我々現役世代は不安を感じる一方、このようなニュースも目にします。

昨年度に続き財務局との意見交換会を実施

令和4年9月22日、昨年度に引き続き、東京都財務局と意見交換会を実施しました。都側からは財務局五十嵐経理部長、前山契約調整担当部長をはじめ、建設局からも担当課長が出席されました。仲介をいただいた自民党からは、高島副議のほかに、菅野政調会長、伊藤政調会長代行、川松幹事長代行もご出席くださいました。当協会からは卯之原理事長、大場副理事長、松村理事、山下専務理事が出席しました。

意見交換会の目的は、令和5年度の都議会への予算要望事項について、要望の背景となる現場の実情、経営状況を直接財務局幹部に説明し、理解していた

だき、入札契約制度の改善を求めるものです。

都側からは「最低制限価格制度の導入や委託成績評定の対象拡大、資格者の配置の義務化など、入札契約制度の核心に関わるものは、他業界からいろいろな意見があるほか、他局の契約制度もあり、もう少し制度設計を進める必要がある」とのことでした。営業種目110と133の明確化などは「他部局にも周知したい」との回答をいただきました。都議からは都側に対し、「現場の声をよく聞いて、ともにいい東京をつくっていききたい。都側もしっかり検討してほしい」との発言がありました。

公園協会の震災対応訓練へ49社が参加



令和4年11月9日、都公園協会が実施する震災対応訓練に参加しました。今回が2回目の参加となります。昨年度と異なり、庭園や公園が訓練対象から外れましたが、当協会から23公園に、49社、66名が参加しました。訓練内容は、13時30分に都内全域で震度5強の地震が発生したと想定し、かまこベンチや防災トイレの組立て、仮設トイレの設置等、主に防災施設の運用訓練を実施しました。訓練後に実施した参加者へのアンケートでは、「災害発生時の具体的なイメージトレーニングができた」「実際に防災施設の組立てを行い、発災時に役立つという体験ができた」「防災意識の向上につながった」「訓練に参加したことで園内施設の把握ができた。」などの意見をいただきました。このアンケート結果は、公園協会にお伝えしました。参加された皆さん、お疲れさまでした。こうした訓練を積み重ねることで、有事の際に地域に貢献できる団体になることを目指してまいります。

東京都・品川区合同総合防災訓練に協力



令和4年9月3日・4日、13日の日程で東京都と品川区の合同総合防災訓練が開催されました。この訓練は、東京都、特別区、各防災機関との連携の強化及び自助・共助に基づく地域防災力の向上を図る目的で実施されています。今年度は品川区の地域特性や防災分野のデジタル化(防災DX)を取り入れた訓練が実施されました。当協会は西村造園土木(株)にご協力いただき、会場の一つである都立林試の森公園にてサザンカ、マサキ等「防火樹」を展示しました。まもなく関東大震災から100年。いつ起こるか分からない災害に備えて防災の意識を高める重要性を改めて感じました。

チェーンソー特別教育研修会の実施



令和4年7月27、29日の3日間、神代植物公園を会場に実施しました。講師には職業訓練指導員である佐藤勉先生、実技補佐として、今年度から技術委員に就任いただいた菅原浩人委員(大森造園建設)にご指導いただきました。学科では、チェーンソーの構造やメンテナンス等、基本的な取扱方法を学び、実技では実際の自然木を使って実習しました。受講者数は会員36名公園協会6名、その他10名でした。

2023年 迎春

千代田区	(株) 森岡	渋谷区	板橋区	八王子市	日野市
日産緑化(株)	(株) ランデック	朝日造園(株)	(株) 池田園	(株) 東緑化	(株) 百草造園
(株) 富士植木	品川区	加勢造園(株)	(株) 杉山造園建設	(株) 多摩緑化	東村山市
中央区	東急グリーンシステム(株)	東光園緑化(株)	練馬区	東新緑地(株)	(有) 光緑園
イビデングリーンテック(株)	西村造園土木(株)	(株) 飛鳥	アゴラ造園(株)	文吾林造園(株)東京本社	国分寺市
港区	日本パブリックサービス(株)	(株) 大澤造園土木	(株) 植物環境リサーチ	三鷹市	鈴木造園(株)
(株) ケイミックス	目黒区	(株) 住友林業緑化(株)	(株) 西部緑化	東和ランドテック(株)	東久留米市
(株) 日比谷アメニス	(株) オーシャン	(株) 創研ガーデン	(株) 豊和緑地	(株) 東山園	(株) 根本造園
新宿区	(株) 西花園	(株) 大場造園	足立区	(株) 玉川造園	(株) 野崎造園
武蔵野造園土木(株)	大田区	(株) 昭和造園	大洋造園土木(株)	(株) キャピタルグリーン	松村園芸(株)
文京区	大森造園建設(株)	(株) 常緑苑	(株) 富士造園	(株) 玉川造園	多摩市
浅川造園土木(株)	(株) 錦花園	(株) 種屋造園興業(株)	(株) 前島植物園 東京支店	(株) 東京緑化	(株) 多摩ニュータウンサービス
音羽建物(株)	(株) 第一造園	(株) 東武緑地(株)	葛飾区	(株) 府中植木	(株) 楯原
台東区	藤東造園建設(株)	(株) 箱根植木(株)	(株) 桂造園	(株) 宮光園	羽村市
東友緑化(株)	世田谷区	(株) 勇和造園	東洋グリーン産業(株)	(株) 昭島市	(株) 大進緑建
(株) 理研グリーン	(株) 石勝エクステリア	(株) 西武造園(株)	(株) アーバンエクステリア	(株) 指田園	西東京市
墨田区	(株) 岩城	(株) 武蔵野種苗園	(株) アメニティ	(株) 調布市	(株) 保谷園
京成バラ園芸(株)東京営業所	(株) 小川植木	(株) 岩田造園土木(株)	(株) 稲亀緑花	(株) 小牧造園	大島町
(株) 増田造園	第一緑興(株)	緑進造園(株)	(株) 植三造園	(株) 深光園	(株) 宝来左松島
(株) 柳島寿々喜園	(株) 野沢園	(株) 綜合造園(株)	(株) 伍楽園	(株) 富沢造園	賛助会員
江東区	(株) 蛭田植物園	北部緑地(株)	(株) 大國屋園藝場	(有) アグリゲイトガーデン	(一財) あんしん財団
天龍造園建設(株)東京支店	緑進造園(株)		(株) みつき	(株) 東京綜合造園	(株) 総合資格
(株) ノザワ				(株) 東京緑花	東洋カーマックス(株)
(株) みどり造園					(株) 丸武
(有) みらい造園					(株) ワイズマン

◆あたりまえの変化

緑窓

働き始めて十五年、ずっと造園の仕事をしてきました。入社時は戸建て住宅の外構造園の設計、施工管理を経験し、現在はマンションやホテルの植栽工事の施工管理を行っています。



満開のブーゲンビリア(那覇の現場にて)

また今回「女性から見た造園の職場」の寄稿依頼をいただき、何を書けばいいのか悩んでいるんだよねとこぼしたことがありました。その時若手男性社員から「この仕事は男女関係ないですよ。」の一言が返ってきました。何気ない会話の一言でしたので、私に対してだけなのか、施工管理の仕事に対しての意見なのかまではわかりません。それでも工事に女性社員がいることがあたりまえのことである世代が生きているのだなと感じられました。きっかけはチャレンジャーとしての配属でしたが今後このあたりの不安や気遣いなく、ものづくりを目指す人がだれでも参画しやすい環境になっていくのではないかと感じています。

配属されたばかりのころは、現場でも女性の現場代理人に対して何を言っているかわからないというように、心配や配慮があったのかなと思います。それでも私は遠慮することなくコミュニケーションをとり、他業種含め現場でも女性が増えたこともあり、最近ではこの壁も薄れてきたように感じます。

(株式会社石勝エクステリア 造園緑化事業部 榎田 裕美)

令和4年度関東甲信造園建設業協会協議会が群馬県前橋市で開催



令和4年10月22日、群馬県前橋市の群馬会館において、関東甲信造園建設業協会協議会が開催されました。対面での開催は3年振りとなります。まず、今回の幹事である(二社)群馬県造園建設業協会川島良則会長から開会挨拶があり、その後、協議会に入りました。今回は、「協会と行政のかかわり方について」「人材確保について」「協会の話題について」の3つの

分科会に分かれ意見交換し、それを全体会議に持ち寄り、全員で討議を行いました。討議内容については、とりまこめた報告書が届き次第、会員の皆様にご報告いたします。

討議後は、徒歩で、国の指定重要文化財である「臨江閣」まで行き、明治17年に当時の群馬県令榎取素彦氏の提言により建設された迎賓館(本館)や、明治43年前橋市で開催された共進会の貴賓館(別館)、並びに日本庭園を視察しました。その後、群馬会館に戻って、懇親会を行い解散となりました。

来年度は東京都が幹事となります。これから総務委員会を中心に企画していきますが、会員の皆様からも、協議事項や視察場所等についてご意見がありましたら、事務局までご提案願います。

造園業務安全講習会の開催



11月25日、渋谷区勤労福祉会館において造園業務安全講習会を開催しました。ご存じのようにこの講習会の受講実績は、一部東京都の総合評価方式において評価項目に採用されており、今回は47名の方が参加されました。

講義は、東京労働局安全専門官 高志氏から「労働災害発生状況と安全対策」、東京都建設局公園緑地部 齋藤氏からは「公園工事における安全管理」、東京電力パワーグリッド(株) 藤井大輝氏には「配電設備と安全距離」を、更に当協会事業委員会副委員長の西田喜一郎氏には、「刈払機による飛び石ゼロへの取り組み」について、お話しいただきました。これからは常に安全意識を持ち、安全技術の向上を目指して、業務に臨んでいただきたいと思います。

高校生インターンシップを実施



今年度も現場実習前オリエンテーションを8月2日、都立豊台高等学校の視聴覚室で実施し、その後、夏休み期間を利用して現場実習が行われました。希望生徒は37名、受入会員企業は24社です。

今回、アゴラ造園(株)のご協力のもと、都立豊台高等学校2名の生徒が2日目の実習をしている様子取材させていただきました。実習現場は、練馬区内の都営住宅。ご指導いただいたのは、内田胡桃さん。ご自身も豊台高校時代にインターンシップを経験され、アゴラ造園に入社されたとのこと。二人は先輩の指導を受けながら、樹木管理台帳の更新作業等、一生懸命に取り組んでいました。

休憩時間、長谷川さん、藤里さん(共に2年生)にお話を聞きました。

Q:インターンシップに手を上げたきっかけは?

藤里さん:今後の進路を考える上で、良い経験になると思いました。

長谷川さん:もともと緑を通して創ることに携わりたいので、緑地計画科を選びました。それをもって現場経験をしてみたくて手をあげました。

Q:2日間をとおして印象に残ったことは?

藤里さん:社内での街路樹の剪定前と後の写真を見させていただき、教えていただきましたが、学校での実習では体験できないようなレベルです。今回は樹木調査の作業を体験させていただきましたが、樹木調査

が造園の仕事とは思っていませんでした。樹木がちゃんと育つ過程にはこういった更新作業が大事なのだとわかりました。

長谷川さん:私も樹木調査が造園の仕事だとは知りませんでした。実際の現場は楽しかったです。今回は天候の関係で体験できませんでしたが、街路樹剪定の現場も体験してみたいです。

Q:今後の進路については?

藤里さん:正直なところまだ決めてはいませんが、せっかく技能士も取得したので活かされたいと思っています。

長谷川さん:今回のインターンシップを進路の参考にしたいです。

2人共、元気はつらつと、しっかりした考えを持っており、大変好感が持てました。ご指導いただいた内田さんからは「私の入社以降、女性ならではの細かな気配りが造園の現場に生かされていくことが期待されます。」

当協会は引き続き、会員企業への就業につながる事業としてインターンシップを継続していきます。

受け入れに協力いただいた会員企業の皆さま、ありがとうございました。



左から長谷川さん、内田さん(アゴラ造園)、藤里さん

第20回日比谷公園ガーデニングショー2022が開催

令和4年10月22日~10月30日までの9日間、日比谷公園ガーデニングショーが3年ぶりに開催され、約17万7,000人が来場されました。今回のテーマは「つなげよう!花とみどりの力で~。造園、園芸、環境等に携わる企業の出展や催し、キッチンカーによるグルメ等がイベントを盛り上げていました。

当協会は会員企業の多大な協力のもと、恒例となっている芝生広場での「思いのたけ」の設営をはじめ、「造園マーケット」として、竹細工の実演、花ポットやエクステリア資材、堆肥等を展示・販売し、賑わいづくりに貢献しました。

また、会期中、一般都民向けに「よくわかる庭木の手入れ実践講座」を開催し、8名の方が受講され、大変好評でした。

ご協力いただいた会員企業29社の皆さま、ありがとうございました。



日比谷GS 当協会出展ブース



都民向け剪定講座

造園植物材料研修会を開催

令和4年9月22日(有) 緑花技研代表の藤田茂氏を講師に迎えて造園植物材料研修会を開催しました。講師からは、葉の特徴による在来種と外来種の見分け方や剪定による樹形の変化などの説明をしていただきました。また、(一財)国民公園協会の赤間慎太郎様からは、菊を育てる過程や菊花壇展に仕上げるまでの工程をお話いただきました。

最後に(一財)国民公園協会の上田真樹様より御苑内の温室施設の多種多様な珍しい熱帯植物をテーマ毎に植栽しているエリアを案内していただきました。

今回の研修会も参加者から大変好評でした。今後も魅力ある研修会を企画しますので是非ご参加ください。



東京みどり探訪 30

多様な主体による公園・緑地の利用促進の取り組み(東京都八王子市)

文・写真/八王子市まちなみ整備部公園課



はじめに

八王子市では、明治29年に開園した富士森公園にはじまり、現在約930ヶ所の都市公園(都市緑地)や児童遊園、広場が整備されておき、平成18年度からは指定管理者制度を導入し、多くの公園は指定管理者により管理されています。

近年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、遠方への外出機会が制限されることが多くなったため、身近な公園の存在が見直されています。本市では指定管理者をはじめとした多様な主体により、公園の利用促進のための取り組みを行っており、この取り組みを紹介いたします。

ミスカツイベント(小田野中央公園他)

小田野中央公園(平成22年開園、面積3.14ha)、多賀公園(平成3年開園、面積0.8ha)、原宿児童遊園は、本市を流れる南浅川の水辺に位置する公園です。

本市の地形的な特徴として、市内に18もの一級河川が流れており、水辺に位置する公園も多いことから、市民や事業者の公園や水辺活用の一体的な利用を促進するための実証実験(通称ミスカツ)を市主催で開催しました。

本実験では、将来的に公園と水辺における市民や地元住民、事業者との連携などを見据え、賑わい創出、イベント事業者の収益性、ブランドイメージの効果等を検証しています。

パークライブラリー(長池公園他)

長池公園(平成10年開園、面積19.43ha)は、多摩ニュータウンの開発に伴って整備された芝生広場と雑木林を有する公園です。

この公園では芝生広場を活用し、新型コロナウイルス感染症による図書館の利用が制限される中、感染症対策を行いながら新しい読書の環境を生み出す「パークライブラリー」を図書館主催で開催しています。このイベントでは、お話し会や本に関するワークショップ等を行い、緑のなかでゆったりと読書ができる試みを進めています。



プレーパーク(宇津貫緑地他)

宇津貫緑地(平成21年開園、面積16.39ha)は、雑木林の自然環境を活かした都市緑地です。この緑地をはじめとした市内の公園・緑地において、プレーパークの見守りのもと、子どもが主体的に自由な遊びをすることが出来るプレーパーク(冒険遊び場)を市民団体が定期的に開催しています。

宇津貫緑地では広々とした原っぱ、すり鉢状の雑木林などの多様な地形を活かした、ロープ製ブランコやターザンロープ等の設置、夏には斜面にウォータースライダーなどを手づくりするなど、子ども達が自分で工夫しながら遊びを作り出す場となっています。遊具の設置にあたっては、樹木の養生や希少植物の保護などにも配慮しています。



スケートボード教室等(戸吹スポーツ公園)

戸吹スポーツ公園(平成23年開園、面積9.81ha)は、最終処分場跡地にサッカー・ラグビー場、テニスコート、スケートパークの運動施設とクライムロック、クライムツリー等の遊具施設等を整備した運動公園です。

大きな特徴として国内最大級(4100㎡)のスケートボード、BMX、インラインスケート専用のスケートパークを有する我が国でも数少ない公園で、他県からも多くのスケーターが来園しています。

この公園では指定管理者の自主事業として、スケートボードスクール、テニススクール、ボウリング・ヨガ・太極拳等の教室、ノルディックウォーキングやサニースクールスポーツ教室、自然体験教室等を、年間を通して行っています。



コケ玉教室等(高尾駒木野庭園)

高尾駒木野庭園(平成24年開園、面積0.29ha)は、奇壇をうけた日本建築の建物とその庭を改修して開園した街区公園です。

高尾の山並みを借景に、蓮が咲き錦鯉が泳ぐ池泉回遊式の水景を中心とし枯山水、露地、水琴窟を有している本格的な日本庭園です。



近隣住民の憩いの場となっている一方、高尾山のハイカーの中継地点としても利用されています。

この公園では指定管理者の自主事業として、庭園や園内の自然を活かした活動に取り組んでおり、近年では盆栽管理の専門家と連携したコケ玉教室、夏宵のジャズ演奏会、市民アーティストの作品展などを行っています。

今後について

本市はかつて桑都として栄えた歴史があることから、古くからの行楽地として栄えた場所を整備した公園や、多摩ニュータウンにより整備・保全された大規模な公園・緑地、高度経済成長時代のベッタタウン化による開発により生み出された開発公園等様々な歴史を持つ公園・緑地が存在します。

東京都関係優良工事

(建設局)

- ・大戸緑地園地改修工事(2)
- ・東光園緑地株式会社
- ・八柱豊園区案内板改修工事
- ・株式会社杉山造園建設
- ・街路樹維持管理杉並平区北その1単契種屋造園興業株式会社
- ・玉川上水緑道防護柵改修工事(3)
- ・株式会社保谷園
- ・桜ヶ丘公園園地整備工事(3)
- ・文音林造園株式会社 東京本社
- ・毛長川整備工事に伴う公園等復旧工事
- ・株式会社柳島寿々喜園
- ・舎人公園C地区園地整備工事(3)
- ・株式会社アメニティ
- ・高井戸公園南地区東側園地整備工事
- ・箱根植木株式会社・種屋造園興業株式会社・他共同企業体

(港湾局)

- ・令和2年度大井頭緑道公園外樹林地適正化工事
- ・日本パブリックサービス株式会社
- ・令和3年度晴海ふ頭公園施設整備工事
- ・天龍造園建設株式会社

- ・令和3年度東京農業アカデミー八王子研修農場(ほ場エリア)農業水利施設等工事
- ・イビディンググリーンテック株式会社

事務局の動き

(令和4年8月1日から令和4年12月31日まで)

- ◆理事会(第3回) 12月12日
- ◆第1号議案 令和4年度事業の実施状況について 第2号議案 令和4年度中間決算についてほか
- ◆常設委員会
- ◆運営委員会(第5回) 9月12日
- ◆役員等の日誌その他に関する規程の改正案について
- ◆令和4年度関東甲信造園建設業協会協議会についてほか
- ◆運営委員会(第6回) 10月28日【書面議決】
- ◆正会員の入会について
- ◆運営委員会(第7回) 12月6日
- ◆令和4年度事業の実施状況について
- ◆令和4年度中間決算について
- ◆令和4年度第3回理事会の開催についてほか
- ◆総務委員会(第3回) 11月30日
- ◆1日当、旅費に関する諸規程の改正について
- ◆育児・介護に関する規程の整備について
- ◆「正会員入会基準」についてほか
- ◆事業委員会(第3回) 10月3日
- ◆1日比谷公園ガーデニングショー2022の事業について
- ◆2. 造園業務安全講習会の開催について(案)ほか
- ◆事業委員会(第4回) 12月21日
- ◆1. 日比谷公園ガーデニングショーについて
- ◆2. 施設見学会園立競技場・赤坂迎賓館の開催について(案)ほか
- ◆広報委員会(第2回) 8月25日
- ◆1. 令和4年度版東京都緑化白書の特集の進め方について
- ◆2. 「東京と緑」第7号以降の外部執筆についてほか
- ◆1. 令和4年度版東京都緑化白書の特集の進め方について
- ◆2. 「東京と緑」第7号以降の外部執筆についてほか

計報
◆故高橋光夫氏
(東和ランドテック(株)会長
令和4年9月27日(逝去))

各コース募集中!

万全の対策で試験突破! 目指せ! スペシャリスト

関連講座一覧

- ◆1・2級建築施工管理技士
- ◆1・2級管工事施工管理技士
- ◆1級舗装施工管理技術者
- ◆1・2級エクステリアプランナー実地
- ◆給水装置工事主任技術者
- ◆CPDS認定講習

資格取得や企業研修など、人材育成について提案致します。

日建学院コールセンター 0120-243-229

株式会社建築資料研究社 東京都豊島区池袋2-50-1 受付/AM10:00~PM5:00(土・日・祝日は除きます)

正会員100社を達成

令和3年10月から1年間、正会員の入会金を無料とするなど、会員拡大を目指して取り組んでまいりました。その結果、目標とした100社を達成(1月現在101社)しました。

新会員入会のお知らせ 令和4年11月入会

◆府中市 代表取締役 平川雄二
☎042-335-1695

◆東久留米市 代表取締役 野崎隆之
☎042-471-4635

事務局からのお知らせ

研修会・講習会等のお知らせや事務局の活動を掲載しています。下記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。今後も随時更新します!

ホームページ フェイスブック インスタグラム